

【モスピラン®液剤】2016年3月7日作成 モスピランは日本曹達(株)の登録商標

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

←の部分が2016年3月2日付けで変更になりました。

【適用害虫と使用方法】

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と本剤及びアセタミプリドを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期※	総使用回数※	使用 方法
きく	アブラムシ類	500倍	100~300リットル/10a (100~300ml/m ²)	発生初期	本剤：5回以内 アセタミプリド：5回以内	散布
ばら、 ペチュニア、ゆり					5回以内	
つつじ類	ツツジグンバイ	250倍	200~700リットル/10a (200~700ml/m ²)	収穫14日前まで	本剤：5回以内 アセタミプリド：5回以内 (樹幹注入は1回以内)	3回以内
つばき類	チャドクガ					
いぬまき	アブラムシ類	500倍	100~300リットル/10a (100~300ml/m ²)	収穫前日まで	本剤：3回以内 アセタミプリド：4回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回以内)	3回以内
かんきつ				カキノヘタムシガ		
うめ	アブラムシ類	500倍	100~300リットル/10a (100~300ml/m ²)	収穫前日まで	本剤：3回以内 アセタミプリド：5回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内、2%粒剤の定植後の株元散布は1回以内、散布、くん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回以内)	3回以内
かき						
トマト なす	アブラムシ類	500倍	100~300リットル/10a (100~300ml/m ²)	収穫14日前まで	本剤：3回以内 アセタミプリド：4回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)	3回以内
きゅうり						
はくさい	アオムシ	250倍	100~300リットル/10a (100~300ml/m ²)	収穫14日前まで	本剤：3回以内 アセタミプリド：4回以内 (粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)	3回以内
キャベツ				収穫7日前まで		

(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計5回以内)

【効果・薬害等の注意】

- ①花卉類に属する作物に使用する場合、誤って高い濃度で使用すると薬害が生じるおそれがあるので、希釈倍数を厳守してください。
- ②花卉類に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、事前に作物の目立たない部分を選定して試用し、薬害の有無を十分確認してから全体に使用してください。
- ③本剤の使用に当たっては、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ②眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。使用後は洗眼してください。
- ③風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意してください。
- ④街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- ⑤蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。
- ⑥使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

治療法：L-メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効です（動物実験で報告）。